



輝くものをみんな1つずつ

校長 森 洋子

前期後半授業開始です。学校にみんなの元気な声が戻ってきました。やっぱり子供たちの声はとってもいいものです。保護者の皆様、夏季休業中、子供たちの見守り・PTA 奉仕活動では大変お世話になりました。夏休み中大きな事故の報告もなく元気に学校に送り出して頂き、感謝しています。ありがとうございます。

今年の夏、パリオリンピックや高校野球等、スポーツを中心に各方面から素晴らしい記録や挑戦の結果がたくさん報道されました。どの選手の力いっぱいもスポーツを楽しむ姿も、どれもみんな素敵でしたね。

市田小の子供たちがオリンピックをテレビ等で観て、何か1つ「心に熱いもの」を感じてくれたらいいな、と思っていました。「すごいな」と思うだけでいい。誰かのカー杯のがんばりに一瞬でもいい、心動かされる、そんな素直な市田小の子供たちであって欲しいと願っています。

【カいっぱい美しい】



【好きをとことん追求した吉澤選手】

私は、スケートボードで、若い選手たちが技を競い合い、成功しても失敗しても共に喜び合い、チャレンジをたたえ合う姿、気持ちが本当に素敵で、心に残りました。女子の金メダリストは14歳、中学2年生です。これを聞くと、市田小の子供たちの可能性の大きさと強さをとても感じます。皆さんは、どんな競技に、どんな話題に心を動かされましたか。

スポーツには人を動かす力があると思います。スポーツだけでなく人が懸命に何かに向かう姿は例えようもなく美しいものです。オリンピックだからすごい、とかオリンピックに出た人だけがすごいわけではありません。人はみんな誰もが、1つ1つ「輝くもの」を持って生まれています。市田小学校のみんなも、先生方も同じです。料理が好き、バスケをずっと続けている、工作が得意！、理科の勉強が楽しいなど・・・。

その「すき!」「得意!」「楽しい!」が、皆さんの「輝くもの」です。

人は、自分のだめだと思っている所が1つもない人より、得意な事・大好きな事・楽しい事が1つでもある人の方が、豊かな生き方なのではないかと、校長先生は思っています。

市田小のみんなは、可能性がいっぱいです。まだ、自分の「輝くもの」を見つけられていない人もいます。でも、みんなに「輝くもの」は必ずあるのです。それを見つける学校生活にしたい。だから周りの大人も先生方も、みんなが「輝くもの」を見つけて、自信を持って生き生きと生きていけるようにと願い、「チャレンジしよう!」と言ったり、「もう一回!」と言ったりして応援するのです。

4月。市田小学校みんなが「持っているちからいっぱいの1年に」とスタートしました。これから始まる学習や活動、行事を機に、自分の持っている力、持てる力いっぱいに向かい、自分の「輝くもの」を見つけていきましょう。

保護者・地域に支えられ、大切な友達の中で共に刺激し合いながら成長できる、温かな中にも活力のある学校を目指し、前期後半、スタートです。

おかえりなさい!

寺尾大輔先生1年2ヶ月ぶりに育児休暇から復帰です。職員室の先生として、全校の子供達に広く関わって参ります。廊下で会ったら「おかえりなさい!」って声かけ仲良くなってくださいね。新しい職員を迎え、教職員一同、気持ち新たに組み込んで参ります。よろしく
お願いします。

